

第2類医薬品

服用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
又、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

漢方薬

しょうせいりゅうとう

小青竜湯エキス錠〔大峰〕

⚠使用上の注意



相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
- (4) 胃腸の弱い人。
- (5) 発汗傾向の著しい人。
- (6) 高齢者。
- (7) 今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- (8) 次の症状のある人。

むくみ、排尿困難

(9) 次の診断を受けた人。

高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	せきを伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。
偽アルドステロン症	尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる、血圧が高くなる、頭痛等があらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮ふや白目が黄色くなる）等があらわれる。

* (2) 1ヵ月位（感冒に服用する場合には5～6日間）服用しても症状がよくならない場合

3. 長期連用する場合には、医師又は薬剤師に相談すること

（裏面もお読みください）

* 《効能又は効果》

体力中等度又はやや虚弱で、うすい水様のたんを伴うせきや鼻水が出るものの次の諸症：

気管支炎、気管支ぜんそく、鼻炎、アレルギー性鼻炎、むくみ、感冒、花粉症

《用法及び用量》

次の量を1日3回食前又は食間に、水又は白湯で服用してください。

年 齢	1 回 量	1 日服用回数
成 人（15歳以上）	4 錠	3 回
15歳未満 7 歳以上	3 錠	
7 歳未満 5 歳以上	2 錠	
5 歳未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

《成分及び分量》

小青竜湯エキス錠〔大峰〕の1日量（12錠）中には下記生薬より得た小青竜湯エキス2500mgを含む。

ハンゲ……………3.0 g サイシン……………1.5 g

カンゾウ……………1.5 g シャクヤク……………1.5 g

ケイヒ……………1.5 g マオウ……………1.5 g

ゴミシ……………1.5 g ショウキョウ……………1.5 g

添加物として、ステアリン酸Mg、CMC-Ca、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール、メタケイ酸アルミン酸Mg、水酸化Al/Mg、セルロースを含有する。

《保管及び取扱い上の注意》

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。（ビン包装の場合は、密栓して保管してください。）
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わる。）
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

本製品についてのお問い合わせは下記にお願い申し上げます。

大峰堂薬品工業株式会社 「消費者相談窓口」

〒635-0051 奈良県大和高田市根成柿574

電話（0745）22－3601代

受付時間 9：00～17：00（土、日、祝日を除く）

製造販売元

大峰堂薬品工業株式会社

奈良県大和高田市根成柿574